

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成 24年 7月 17日

愛知県知事 殿

提出者

住 所 愛知県田原市野田町山合口2番地4

氏 名 (株)河 建 代表取締役 河合 繁樹

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0531-25-1188

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 河 建
事業場の所在地	愛知県田原市野田町山合口2番地4
計画期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
事業の種類	06 総合工事業
事業の規模	元請完成工事高 900万円
従業員数	30人
産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類：再生処理業者に委託して再生砕石として再資源化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項					
(管理体制図)					
<pre> graph TD A[土木部] --- B[産業廃棄物処理責任者 (廃棄物処理総括責任者)] B --- C[土木部長 (特別管理産業廃棄物管理責任者)] C --- D[作業員 (産業廃棄物処理施設技術管理者)] </pre>					
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項					
現状	【前年度 (平成23年度) 実績】				
	産業廃棄物の種類	ASガラ・COガラ	セメントケキ	木くず	金属くず
	排出量	582t	1013t	7t	1t
	(これまでに実施した取組) 企画、計画及び施工の各段階において検討を行い、メーカーや発注者と事前の調整を行うことで発生量の削減に取り組む。				
計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	ASガラ・COガラ	セメントケキ	木くず	金属くず
	排出量	550t	950t	5t	1t
	(今後実施する予定の取組) 企画、計画及び施工の各段階において検討を行い、メーカーや発注者と事前の調整を行うことで発生量の削減に取り組む。				
産業廃棄物の分別に関する事項					
現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 金属くず、木くず、アスファルト・コンクリート破片、ロックウール化粧吸音板、ALC板等再生可能な品目については分別を徹底する。				
計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状では、混合廃棄物の発生は多くないが、分別可能な混合廃棄物については分別を徹底する。				

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項					
現状	【前年度（平成23年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	ASガラ・COガラ	セメントケキ	木くず	金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	418t	0t	0t	0t
	（これまでに実施した取組） コンクリートについては、自社で破碎を行うことにより基準に適合した再生砕石として再利用する。自社で破碎を行えない場合は、再資源化施設を有する産業廃棄物処理業者に処理を委託する。				
計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	ASガラ・COガラ	セメントケキ	木くず	金属くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	400t	0t	0t	0t
	（今後実施する予定の取組） コンクリートについては、自社で破碎を行うことにより基準に適合した再生砕石として再利用する。自社で破碎を行えない場合は、再資源化施設を有する産業廃棄物処理業者に処理を委託する。				
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項					
現状	【前年度（平成23年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	ASガラ・COガラ	セメントケキ	木くず	金属くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t
（これまでに実施した取組）					
計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	ASガラ・COガラ	セメントケキ	木くず	金属くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t
（今後実施する予定の取組）					

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項					
現状	【前年度（平成23年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	ASガラ・COガラ	セメントケキ	木くず	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t
	(これまでに実施した取組)				
計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	ASガラ・COガラ	セメントケキ	木くず	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t
	(今後実施する予定の取組)				
産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
現状	【前年度（平成23年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	ASガラ・COガラ	セメントケキ	木くず	金属くず
	全処理委託量	164t	1013t	7t	1t
	優良認定処理業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t
	再生利用業者への処理委託量	164t	1013t	7t	1t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t
	(これまでに実施した取組) 再生利用業者への処理委託。				

(第5面)

計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	ASが ^ラ ・ COが ^ラ	セメントケキ	木くず	金属くず
	全処理委託量	150t	950t	5t	1t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0t	0t	0t	0t
	再生利用業者への 処理委託量	150t	950t	5t	1t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t	0t	0t	0t
	(今後実施する予定の取組) 企画、計画及び施行の各段階において検討を行い、メーカーや発注者と事前の調整を行うことで発生量の削減に取り組む。				
事務処理欄					

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) 欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) 欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「 」を記入すること。
- 7 欄は記入しないこと。